

支所機能のあり方・本庁舎建設について



西村 尚武 議員

西村 支所機能のあり方について。市内全域の一体的な発展のために拠点支所を。
市長 現在の各支所の状況は、行政区長等の方々に検証を実施した結果、「対応が早くなった」等の意見があった。現状、一般財源の大幅な減少が想定される中、効率的で、かつ効果的な行政運営が重要となっている。そこで、現在の支所の充実や地域のブロック化等、行政運営の組織化が必要であると考え。地域のゾーン化、拠点支所の配置については検討すべき重要性があると思う。

【本庁舎建設について】

西村 本庁舎建設について。十分な機能を備えた本庁舎の建設を。
市長 マニフェストにおいて新庁舎の建設事業費を公示した時点から、毎年、労務単価が16・7%上昇しており、熊本県内の普通作業員単価においては20%も上昇しているようだ。また、建設資材においても上昇している。労務単価の引き上げや今後の社会情勢を考えると非常に厳しい状況だと認識している。今後の人口や職員数の減少を考慮して新庁舎の規模を大幅に縮小した。そのために、新庁舎建設後、一定期間は近隣の公共施設や支所の空きスペースを活用し、新庁舎に機能を集約していこうと考えている。しかし、市の本庁機能としては本庁集約型が本来あるべき姿だとも認識しており、できれば職員数に併せて10年ぐらいを目途に本庁機能を集約できればと考えている。
また、議員要望の「市の庁舎は防災拠点施設であり、市民サービスの中心施設である」。これは、市庁舎にとって最も重要な要件の一つで、そのことを踏まえて事業を進めていく。



新庁舎イメージ図

世界遺産登録の経過と取組について



池田 裕之 議員

池田 登録取り下げの伝達の中で「文化庁では、いくつかの対応策の中から、登録への最善・最短の手法を検討している」との答弁があった。他の世界遺産候補より少し優先権があると理解したが。文化庁も含め推薦書作成の判断違いがあったと思う。長崎県では、長崎県民会議が組織され県全体での応援体制があるが熊本県の体制は充分か。

00万円を計上。予定価格は設計提案の点数の高かった企業体の見積もりを参考にした。地域放送は、地域で決めて欲しい。

【河浦高校について】

池田 文化庁も一体となって取り組んで頂くものと思っている。長崎県の教会群を世界遺産へという活動から出発しており教会建築に比重が置かれたのは事実と受け取っている。熊本県として出来ることを積極的に取り組んで頂くよう要望して行く。

池田 河浦高校は、河浦の3カ村による学校組合立一町田農業高等学校として発足している。町立高校としての愛着が強い。跡地利用の申し出は、優勝杯など支所等の空きスペースに保管したいが。

市長 跡地利用は地元要望があれば市として協力して行く。学校の歴史物は、保存すべきと考えているので市で管理も可能と考える。

【防災行政無線について】

池田 河浦有線放送を設置した経験から職員での機能や送受信装置を選定・施工管理するのは難しいと思う。見積書と入札価格の差が大きい理由は、地域放送の内容は統一するののか。

総務部長 施工管理業務は精通したコンサルに委託したい。予算3,0



平成28年度をもって閉校となる河浦高等学校

平成28年度 施政方針について



本田 武志 議員

本田 今回の大雪による不知火（デコポン）の被害状況と寒害に対する屋根掛けハウスの有効性について、どのように認識しているか。また、倒壊ハウス復旧のためにも、本格的ハウス（連棟）への有利な補助制度が必要と思うが。

市長 市内で66件3億7,000万円の被害があつている、寒害防止として屋根掛けハウスは、非常に有効と認識している。本格的なハウスへも、国の補助制度を利用し、有利な補助となるよう、事業採択に向けて取り組んでいる所である。

本田 天草ならではの広域観光ルートとは。また、天草市の玄関口として、リップランドへの看板設置など取り組みはないのか。

市長 「道の駅」を巡るルートを考えている。すでにあるリップランドや海彩館のほかに、崎津集落ガイドランスセンターや五和の仮称イルカセンターなどを整備し、全体では、7カ所程度の「道の駅」とし、観光の周遊性を高めたい。また、その起点としてのリップランドの看板設置に取り組む。



観光ルートの起点となる道の駅有明「リップランド」

消防団員の確保 安心安全を支える役割



蓮池 良正 議員

蓮池 各地域のまちづくりで、消防団はどういう意義をもって、どういう活動状況か。実際の火災では、先日も消火するまで相当の時間を要した。火災の原因解明や消火活動の検証等がされるが、火元の特定と広報の課題、消防水利の確保でも課題がある。いろんなところに消防水利を確保することを平時から考えておくことが大切。

【消防団員充足状況と努力方向】

総務部長 地域の安心・安全を確保するために欠くことのできない組織。また、地域文化・伝承の継承や地域コミュニティの維持・振興にも大きな役割をもち、地域まちづくりの中心的存在。消防団は、火災や地震及び風水害等の災害時に備え、消防資機材の点検や方面隊ごとに全体訓練

や各訓練を行い有事に備えている。また、春季・秋季の火災予防運動期間等に火災予防啓発を行う。
蓮池 定数と実際の充足状況をお聞きする。地域人口が減少する中で、消防団員定数も弾力的に運用されて大丈夫か。少なくとも消防団の機能が維持できる人員確保が最低限の要か。

地域内事業所に消防団員への呼応をお願いされ、実際にはどの程度の職場企業から協力的にだけいているか。また、天草市役所自体は、協力事業所として自他ともに認められているか。個々の市職員の段階での消防団加入への判断に、若年層が働いている職場が無関心でいるわけにはいかないと思う。



総務部長 定数は、基本団員3,000人、機能別団員300人。今年1月末で充足率は、98・3%と52%。市職員の団員数は245人。積極的に勧めていきたい。定数は、合併時3,200人だったが、平成24年度に機能別団員制度導入し、定数改正した。協力事業所には50事業所登録。